

No.78

■発行/奈良市議会
■編集/奈良市議会だより
編集委員会

奈良市議会だより



〒630-8580
奈良市二条大路南1-1-1
奈良市議会事務局
☎(0742)34-4734

議会だよりは年4回(2月、5月、8月、11月)の発行予定です。



満開の桜に彩られた奈良公園(浮見堂)

3月定例会

平成16年度予算原案どおり可決 対前年度比実質1.3%の減

予 算 額		対前年度比	市民一人当たり
(億円)		(▲はマイナス)	(4月1日現在)
1153億円		6.9%	31万5千円
【歳入】	税	▲ 1.3%	14万円
(うち、市)	市民税	▲ 2.3%	6万6千円
市	債	▲ 36.4%	5万2千円
国庫	支出金	▲ 2.7%	4万1千円
地方	交付税	▲ 1.7%	3万2千円
そ	の 他		180億円
【歳出】	費	▲ 5.5%	9万3千円
民	生	▲ 59.8%	6万4千円
公	債	▲ 7.3%	4万1千円
土	木	▲ 6.1%	3万3千円
総	務	▲ 5.0%	3万2千円
教	育	▲ 1.4%	2万9千円
衛	生		81億円
そ	の 他		

16年度は合併問題や市立病院の開設等、市にとって大きな節目の年になる。行政と市民が手を携え、さらなる発展をめざしたい」と述べました。

市長は提案説明の中で、「奈良には、伝統的な文化、美しい自然、やさしい心があります。過去から引き継いだこれら貴重な財産を未来へ伝えていくのが我々の使命だと考えています。これら市の財産を次代を担う子どもたちに伝えていくためには教育が重要であり、教育により健全な子どもたちを育てることが健全な都市を創ることであると思っている。

可決した平成16年度一般会計予算は、総額1153億円で対前年度比6.9%の増となっていますが、16年度に満期一括償還を迎える平成7年度と8年度に借入れた減税補てん債の借り換え分が含まれており、これを除くと実質的には1.3%の減となっています。また、11特別会計予算、2公営企業会計予算を含めた本市の総予算額は、2123億5670万円で対前年度比5.2%の増、減税補てん債の借り換え分を除くと0.8%の増となっています。

健全な子どもを育て 健全な都市を創る

本市議会は、平成16年3月定例会を3月4日から23日まで20日間の会期で開きました。この定例会では、市長提出の平成16年度一般会計予算など74件と、議員提出の議案1件をいずれも原案どおり可決しました。また、一部議員から提出の平成16年度一般会計予算等の組み替えを求める動議は否決しました。このほか、任期満了に伴う選挙管理委員、同補充員の選挙を行いました。

景気低迷・三位一体改革の中での 新年度予算編成方針は

問 平成16年度一般会計は1153億で対前年度比6.9%の伸びとなっているが、7・8年度に借り入れた減税補てん償が16年度一括償還を迎えるとのこと、その借り換え分88億2千万円を除くと1064億8千万円で実質1.3%のマイナス予算である。この厳しい予算案は、景気低迷や三位一体の改革に伴う影響もあると思うが、いかなる予算編成方針で取り組んだのか。

答 景気低迷によって基幹収入である市税が減少すると、三位一体の改革で財源の減少が見込まれる中での予算編成であったので、それに対処するため施策の選択と重点

化に努めることとし、市民生活の一定水準の確保に努めた。

観光

歴史の道の 今後の整備は

問 世界遺産のある市として、本市の新たな歴史の道を考えるつもりはあるか。今後どのように整備していくのか。

答 歴史の道は昭和47年に選定した延長27キロのハイキングコースで、華やかな天平文化を育て上げた平城京の周辺を結ぶ古道であるが、選定後30年以上が経過し、コースの



観光対策として整備が検討される歴史の道の道 (高畑町)

財政

質問と答 本会議

三位一体の改革で 厳しい予算編成

3月9日、10日、11日の本会議では、15人の議員(うち代表質問6人)が質疑・一般質問を行いました。今定例会では、国の三位一体の改革による補助金の廃止・縮減、地方交付税の削減や、市税の減少など厳し、財政状況の中で、新年度予算編成の方針や行政姿勢、福祉、環境、都市整備、教育などについて質問がありました。以下は、質問と答弁の要旨です。

周辺状況も大きく変化している。平成13年度から3カ年計画で道標等の整備を進めてきたが、16年度には歩行調査を行い、道路の整備が必要な箇所については関係機関に要望するとともに、コースについても検討を加え、快適で安心して歩ける歴史の道として充実を図っていききたい。

福祉

通所授産施設に移行 心身障害者福祉作業所

問 市総合福祉センターにある作業所を、通所授産施設に移行する目的は何か。また、運営はどのように考えているのか。

答 通所授産施設移行により個々の障がい者の状況に応じた個別支援計画の作成が義務化されるので、今まで以上

に効率的かつ明確なサービスを提供できることとなるため計画した。また、国庫負担対象事業となり財政的に負担の軽減にもつながる。平成16年度に施設整備を行い、17年4月から引き続き社会福祉協議会で運営していくが、具体的な運営方法等については、今後、利用者や障がい者団体等と調整しながら、より良い施設づくりを進めていきたい。

新保健所に高齢者の 筋力維持の施設を

問 高齢者の介護予防に、建設される新保健所を、身体機能維持の筋力トレーニング等の事業に対応できる施設にする考えは。

答 高齢者の寝たきりの第一の誘因である転倒を予防するために、筋力を維持させることは大切なことである。高齢者自らが、毎日の生活の中に手軽で効果的な運動が取り入れられるよう運動教室を開催し、高齢者の健康づくりを進めていきたい。

また、今後建設する新保健所施設内に各種健康づくり事業に対応できるスペースの確保が必要と考えている。

介護サービスの負担額

減免措置の対象拡大は

問 社会福祉法人が行う介護サービスに生計困難者の減免制度があるが、国が利用者

負担の範囲とする4つの減免対象の中で、本市は食事代、居住費が減免対象になっていない。また、国の指導する減免対象者の範囲と大きな開きがある。減免対象拡大の考えと今後の対応は。

答 平成16年度以降に新增設される特別養護老人ホームは、新型特養として整備される関係から、入所者及びショートステイの利用者の居住費について減免の対象とする国の指導がある。市の措置についても所要の体制を講じていきたい。また、減免対象者の拡大については、対象者の増加が見込まれる一方、社会福祉法人の負担増となることから、その協力を得る必要が生じてくる。今後、法人とも協議調整を図りながら検討していきたい。

行政姿勢

固定資産税の減免 J R改札口経費負担

いつまで継続か

問 市の自主財源の占める割合が減り、借金の依存体質が一層強まっている中、新年度予算には、観光ホテル、旅館に対する固定資産税の減免、

J R奈良駅西口改札の経費負担などがある。福祉や暮らしの予算が減らされ、社会保障の改革や不況のもとでの市民の暮らしは大変な状況であるのに、市民の理解の得られない減免や経費負担をいつまで

教育

大学生の派遣で活力 学校教育活動支援事業

問 新年度予算案に計上されている教員志望の大学生を学校現場に派遣して、教育活動の補助・支援を行う学校教育活動支援事業の展開はどのように考えているのか。

答 事業の目的は、市内の大学で学ぶ、あるいは市内在住の教員志望の学生等を地域の人材として活用し、教育現場のニーズに応じた課題の解決などをめざすものである。事

業内容は、各教科・部活動・個別学習の指導助言、軽度発達障害のある幼児児童生徒の指導補助など、教員の指導補助として大学生を派遣する。教員志望の大学生にとっては、大学で学んだことを実際に生かしながら深く学ぶことができ、また、学校にとっても若い力による活力で教育課題の解決が図れると考えている。

新会派が誕生

平成16年3月26日付けで「政翔会」、4月8日付けで「民政クラブ」の結成届が議長に提出されました。所属議員名は次のとおりです。(届出順)

- 【政翔会】
幹事長 浅川 仁
副幹事長 森田 一成
奥田 正治 三浦 教次
大坪 宏通 松田 未作
山本 清

【民政クラブ】

- 幹事長 横井 健一
副幹事長 松村 和夫
矢野 兵治 内藤 智司
藤本 孝幸 土田 敏朗
山口 誠 堀田 征男
和田 晴夫 橋本 和信
新会派結成により、会派構成は次のとおりとなります。
民政クラブ10人 公明党市議会議員団8人 政翔会7人
交代会6人 日本共産党市議会議員団6人 政青会3人 無所属4人(計44人)



駅前広場の整備が必要な近鉄奈良駅周辺

都市整備

近鉄奈良駅周辺の 基盤整備は

問 近鉄奈良駅前広場は人やタクシー、自動車などが輻輳し、狭隘な状況となっている。また駅東の路上で観光バスが駐車し、交通混雑を招いている。同駅周辺の基盤整備を重点施策として位置付け、整備することが必要と考えるが。

答 同駅周辺は、交通結節点として多くの課題を抱えていることから、都市計画マスタープランでは都市核として位置付けるとともに、国際文化観光都市・奈良の玄関口にふさわしい魅力ある整備を図ることとしている。駅前広場

の再整備には膨大な事業費がかかるため、国、県、市、企業が一体となる必要がある。構想の策定段階から関係機関はもちろんのこと、商店街など地域関係者にも参画してもらい、十分協議をしていきたい。

バス停の違法広告 ベンチの撤去は

問 平成15年11月屋外広告物維持特区の認定を受けたが、バス停の違法広告付きベンチは、撤去されていない。管理責任者の奈良交通との話し合いはどのようになっているのか。また、今後の方針は。

答 広告付きベンチは広告物掲出企業が、不適切に置いている。早急に撤去の指導をすべきと考えている。15年より県、市の道路管理

者とバス事業者とで協議を行い、高齢者等の利用も踏まえ、不適切な広告付きベンチについては撤去し、それに代わるベンチの設置をバス事業者に働きかけ、一定の理解を得た。現在、安全上の基準や広告物掲出基準を策定中であり、16年度から順次実施できるよう努力していく。

京阪奈新線 高の原駅まで延伸を

問 京阪奈新線は、当初計画で近鉄高の原駅までの構想があったと聞けが、現在では登美ヶ丘駅が終点となっている。高の原駅までの延伸は。

答 奈良県・京都府・近畿運輸局・近鉄で組織された京阪奈新線整備研究会で検討の結果、生駒・高の原間12.2キロのうち、近鉄奈良線の混雑解消のため、生駒・登美ヶ丘間8.6キロの整備が進められたものである。

新線を延長させることは、現段階では大変困難であると感じているが、地元も高の原駅までの延長を強く要望されている。当初計画どおり、高の原駅までの延長を強く要望していきたい。

庁舎西側道路 渋滞の改善は

問 市庁舎西側道路は大宮通りに入る自動車の渋滞により、イトーヨーカドー方面へ

の直進ができず、さらに、庁舎内駐車場まで渋滞している。西側方面へ進む車両の新たな路線の開設については、庁舎駐車場へ出入りする車両台数を考慮し関係機関とも協議し改善していきたい。

答 庁舎裏駐車場西ゲートの混雑時は、警備員の誘導策



道路側西側市庁舎渋滞する

市立病院

市立奈良病院 懸案の医師確保は

問 市に移譲され、市立病院となる国立奈良病院の産婦人科医師が平成15年度末で退

職し、同科を当面の間休止することが報道されたが、以前より懸案の医師の確保についてどのように考えているのか。

答 4月から産婦人科の常勤医師が不在になったことは一時的なものであり、国において医師の確保を行い、12月の移譲に影響を及ぼすことはないという説明を受けている。

市立奈良病院の医師確保については、指定管理者である社団法人地域医療振興協会からは、医師41名体制で開設できると報告を待っている。

市としては、移譲日に向け、市民に信頼される病院として、安心して医療を受けられる体制づくりを期していきたい。

人権

性的少数者の人権を 守る取り組みは

問 性同一性障がい者をはじめとする性的少数者の人権を守ること、差別偏見をなくす取り組みをどう展開していくのか。

答 平成15年7月16日「性同一性障害者の性別の取り扱いの特例に関する法律」が公布され、性同一性障がいについての認識を深めるべき状況にあると考える。これらの人は日常生活に不便を強いられていることから、新たな人権の問題として捉えなければいけない。この法律が成立した主旨を十分に理解し、これらの人が社会的に認知されるよう、あらゆる機会を通じて、普遍的問題として理解されるよう啓発していかなければならないと考えている。

同対特別法失効後2年 運動団体への対応は

問 2年前、同和对策の特別法が失効した。運動団体・部落解放同盟奈良市協への補助金の終期と今後の対応は。

また、運動団体窓口一元化とセクション別交渉の今後の姿勢は。

答 特別法失効後も差別事

環境

環境清美工場の公害調整 論点と今後の対応は

問 平成15年8月平成ニュータウン4地区と佐保台等の住民から奈良県公害審査会に申請された環境清美工場に関する公害調整の論点と今後の対応は。

答 調整で論点となっているのは、左京小学校・同幼稚園の開校・開園前の説明会における、工場移転問題や健康被害の有無である。今後は、

論点となっている点はもとより、論点となると予想される問題についても、誠意をもって対応し、調停の場を通じて環境清美工場は、市民生活に直結した必要不可欠な施設であることをご理解いただけるよう努力する。

請願

平成15年12月定例会で議会運営委員会に付託された、奈良市議会の行財政改革及び行政委員組織の刷新を図るため奈良市議会議員OBの天下り人事に反対する請願は、今定例会で採択しました。

2千円を減額 議員の会議出席費用弁償

議会の議員が本会議や委員会に出席した場合、地方自治法の規定により費用弁償を支給することができ、市の条例でその額、支給方法を定めて日額7千円から5千円の費用弁償を支給していましたが、見直し等の意見もあり、議会制度等検討協議会で検討を進めてきたところ、昨今の厳しい社会経済状況や本市の現下の財政状況等を勘案して、現行支給額から2千円を減額し、平成16年度から実施することで各会派の合意が得られましたので、議員提案により条例改正を行いました。

居宅介護従事者

問 居宅介護従事者養成研修事業については。

答 15年度からは、市が研

乳幼児医療費助成

問 乳幼児医療費助成制度の拡充については。

答 必要性は十分認識しているが、財政的な負担も大きい。この制度は、県が実施主体となり、それに準じて市が行っており、国・県に制度の見直しを要望していきたい。

また、税務署の退職者を嘱託職員として雇用し、差し押え等滞納処分の強化を図っていく。

市税の収入確保

問 市税の収入確保は。

答 重点目標として、新規滞納者をつくらないための現年度課税分の徴収強化、高額滞納者に対する接触・調査の強化、分納誓約者に対する契約履行の徹底、滞納処分案の再調査に基づく処分の見直しを掲げ、取り組んでいく。

以下は、委員会審査での質疑の要旨です。

委員会は3月11日、15日、16日、17日及び18日の5日間開き、付託された平成16年度予算案及び関連する議案の40議案について審査し、いずれも原案どおり可決しました。

予算特別委員会の審査概要

朱雀大路の復元

問 朱雀大路の復元は。

修事業所の指定をし、民間で研修を行っているが、知的障がい者や、みなしヘルパーにがなく、市において実施することとなるので、16年度に百万円の予算を計上している。

委員会では3月11日、15日、16日、17日及び18日の5日間開き、付託された平成16年度予算案及び関連する議案の40議案について審査し、いずれも原案どおり可決しました。

予算特別委員会の審査概要

修学旅行誘致

問 修学旅行の誘致は。

答 事前学習のための修学旅行生向けのガイドブックやCD-ROM、体験学習のための案内書などを用意し、各学校からの要望にこたえられるようにしている。

答 現在は休止の状態である。朱雀大路の大宮通り線から北側の部分については整備を続けていきたいが、積水化学の工場移転が大きな課題である。今後も文化庁との協議も含め、整備を行うための努力は必要と考えている。

違法ビラ・看板撤去

問 違法ビラ、違法看板の撤去は。

答 「学校飼育動物における鳥インフルエンザ対応マニュアル」を作成し、通知した。今後も、獣医師会をはじめ関係機関と連携をとりながら、

新婚向け市営住宅

問 若い人たちが入居できる市営住宅の建設は。

答 新婚向け等の市営住宅の新規供給については、住宅施策の大きな課題と認識している。現在着手している既存住宅の建て替え事業に一定のめどがついた時点で検討したい。

基盤整備

問 近鉄奈良駅周辺の基盤整備は。

答 経済が低迷している中で、市としても民間の協力を得ない事業が成り立たない時代になってきている。16年度は、商工会議所をはじめ、地元住民や商業者等と精いっぱい話し合いを重ねていきたい。

予算特別委員

委員長 金野 秀一
副委員長 中西 吉日出
委員 奥田 正治 三浦 教次
大坪 宏通 矢野 兵治
大國 正博 内藤 智司
北村 拓哉 榎木 義秀
大橋 雪子 山口 誠
松田 未作 和田 晴夫
松石 聖一 原田 栄子
大谷 督



復元整備課題を抱える朱雀大路

鳥インフルエンザ

問 学校における鳥類の飼育は。

答 「学校飼育動物における鳥インフルエンザ対応マニュアル」を作成し、通知した。今後も、獣医師会をはじめ関係機関と連携をとりながら、

転院搬送

問 転院搬送については。

答 本来、医療機関の業務であると認識しているが、救急業務が医療機関との連携協力の上に成り立っていることから、その要請に応じざるを得ない現状がある。本来の救急業務に支障が出ないよう対処しているが、緊急度の低い場合も少なくない。

消火体制

問 密集した商業地域における消火体制は。

答 駐車車両など、通行を妨げる状態があれば、進入方法を考慮して包囲隊形をとる。密集地域は、延焼拡大の可能性が大であるため、火災等の規模に応じた出動体制をとっている。

答 ボランティアや一般市民2、3人で除却ができるような要綱を策定している。16年度当初に募集を行い、市民の協力を得て、違反広告物のないまちづくりをめざしていきたい。

専用競技場

問 ゲートボール等の専用競技場は。

答 ゲートボールについて

保有土地の売却

問 宅造会計の保有土地を早期に売却すべきでは。

答 今後、未成土地も含め、宅地造成事業全体をどうするかという検討を行い、宅地造成会計の中で終結を見るための努力を精いっぱい行っていきたい。

スクールカウンセラー

問 スクールカウンセラーの配置は。

答 現在、国、県の補助で7中学校に、市独自で2中学校に配置している。今後は、学校全体の相談体制の充実のため、できるだけ多くの学校に配置できるように検討していきたい。

学校教育活動支援事業

問 支援活動については。

答 教員が授業を行っているときに、教室を巡回して個別指導を行ったり、部活動で顧問の指導のもとでの実技指導に当たるなど、これまで教職員だけではできなかったきめ細かな教育活動への支援を想定している。

主な議決結果

3月定例会で議決したその他、主な議案は次のとおりです。

件名	結果
◇奈良市北部会館条例の制定 右京一丁目地内に建設中の奈良市北部会館の設置及び管理に関する条例措置	可決
◇奈良市グリーンホール条例の制定 中登美ヶ丘三丁目地内に建設中のグリーンホールの設置及び管理に関する条例措置	可決
◇なら奈良館条例の一部改正 小・中学生の入館料の無料化	可決
◇奈良市立学校設置条例の一部改正 水間小学校を廃止し、田原小学校への統合	可決
◇固定資産評価審査委員会の委員の選任 青木信篤氏の再任	同意
◇人権擁護委員の候補者の推薦 尾崎康雄氏、松山基則氏の推薦	同意

選挙管理委員決まる

任期満了に伴う奈良市選挙管理委員会の委員及び同補充員の選挙を3月23日の本会議で行い、次の方が当選しました。これは、選挙管理委員・同補充員は地方自治法で議会で選挙するとなつていていることによるものです。(敬称略)

- 選挙管理委員**
- 吉田 勝一
 - 南浦 小糸
 - 玉永 進
 - 梅本 勝
- 選挙管理委員補充員**
- 吉田 恒俊
 - 徳田 幸子
 - 河村 武
 - 西田 浩
- ※委員が欠員となった場合、補充する順序は掲載順です。

は、西部生涯スポーツセンターに設置しており、各地域では、公園や高架下等を利用した専用練習場がある。

グラウンドゴルフやターゲットバードゴルフについては、専用競技場の設置はしていない。

水質保全

問 水源流域の水質保全は。

答 トータルで制御するシステムがなければ、保全対策は非常に難しく、最善の方法は、森林の保全であると考えられる。

11年度より水源の保全の調査を実施するなど水質保全に努めている。

今後は、森林組合等とも連携をとりながら、水源地域の保全をしていきたい。